

# あきる野

平成21年（2009年）

1 / 1

No. 362

発行 あきる野市

〒197-0814 あきる野市二宮350

編集 企画政策部市長公室

☎ (042) 558-1111

http://www.city.akiruno.tokyo.jp/

## 豊かな森に<sup>いだ</sup>抱かれて…

東京のふるさと五日市物語の始まりです



大昔の五日市には、象が棲んでいました（発見された象の化石のレプリカを、五日市郷土館に展示しています）。五日市の盆地は、大きな湖でした。やがて湖がなくなると、美しい豊かな山に囲まれた場所です人々が生活を始めました。そして長い歴史の中で、優れた文化が生まれてきました。

五と十のつく日に市が立つようになり、地名の由来となりました。江戸時代には、将軍家へアユを献上していたことがあります。幕末から明治初期には、五日市憲法草案を起草した千葉卓三郎や、看護師として海外に渡って活躍した萩原タケなどの著名人を輩出しました。昭和初期には、五日市鉄道が引かれて交通も発達しました。大悲願寺を訪れた伊達政宗が後日、境内に咲く萩の花を所望したという記録があります。これから、皆さんの協力もいただきながら、さまざまな歴史上の出来事などをまじえた「東京のふるさと五日市物語」の創作をめざします。

あきる野市長 白井 孝

昨年中は、市政に對しまして皆様のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。行政力の強化に様々な行動を起してまいりました。執行にあり、少数精鋭主義による効果的な業務の執行に努めます。職員と共に、「行政改革元年」の取組を進めてまいりました。行政改革元年の学校の耐震化事業を、三年間で完了できる準備を整えました。

第二に地域力の強化ですが、いつ起こるか知れない災害に對する備えは、地域力に負うところが大きいと言われます。昨年、市内七地区（旧町村単位）に防災・安心地域委員会が設立されたことは、とても強いことです。この組織の支援のため、市職員による地域コミュニティ応援隊もコーディネートとして活動性を始めています。

第三に地域経済力として活動性化プロジェクトチームが、市内三地域で活動していますので、その成果が期待されます。さらに、引田北口、そのまちづくり委員会と、旧秋川高校跡地の土地利用検討委員会も設置されました。この開発で、新産業を取り入れた活力あるまちづくりに繋げていきたいと思っております。

私たちのあきる野市は、すばらしい所です。偉大な先人の努力に思いをいたすとき、このふるさとに誇りを創る計画を立てました。瀬音の湯を訪れる人は、すでに四十万人を超えました。これからは、自然と農業を守り、多くの人が憧れて観光に訪れるまちになるよう、市民の皆さんと力を尽くしてまいります。

本年が、皆様にとりまして、より良き年でありまして、心からご健勝とご多幸をお祈りいたします。年頭の挨拶といたします。



新年あけまして  
おめでとーうございませす